

問 新庁舎建設に伴う周辺整備計画について

答 庁舎建設を起爆剤として改修が進むよう、国・県に要望している

小林 健志 議員

問 一、国道29号、山田交差点周辺拡幅工事について。
二、県道田井中広瀬線について。
三、穴栗橋の老朽化について。
四、揖保川河川改修について。
五、中広瀬地区区画整理について。

市長

穴栗橋より国道29号までの間は、都市計画道路鹿沢線として主要地方道穴栗下徳久線に接続する計画とな



老朽化する穴栗橋

っているが、交差点で渋滞している実態がある。国道への進入については、当面信号切り替え時間等の調整を働きかけ解消を図りたい。さらに、庁舎敷地の一部及び公園区域内道路を利用して、歩行者の安全対策を庁舎建設工事を含め実施する予定。穴栗橋架け替え、揖保川河川改修については、河川の公園化構想の実現化に向けた要望と併せて、早期に事業計画の決定をいただけるよう、国県に要望していく。中広瀬の区画整理については休止状態が続いているが、住みやすく快適な街づくりのために可能な限り努力を続ける。いずれも、庁舎建設を起爆剤として改修を進めていくよう、国県に強く要望を続けていく。

問 “高齢者・障害者福祉の充実を”

答 老人・介護・障害者福祉計画で対応

大上 正司 議員

問

元気な高齢者はもとより、要支援者・要介護者・誰もが、住みなれた地域で、家族や地域住民の支援のもと、自立や在宅生活が出来るようにと、18年度に老人保健福祉・介護保険事業・障害者福祉計画が策定され、20年度までの3カ年の取り組みが示されているが、5月14日付の神戸新聞に全国市長会が全市を対象に行ったアンケート調査で、国の地方交付税削減が住民サービスに大きく影響し、

市長

縮小・カットの対象を高齢者医療や障害者への補助等を挙げている市が60%あり小規模な市ほど影響が大きいとあるが、穴栗市はどうなっているか。介護予防や生活習慣病予防事業の一貫として、高齢者等に温泉施設利用の優遇措置を講じるなど、すべての市民に生きがいを感じていただける、ぬくもりある福祉行政の展開が必要であると思うが。

アンケート調査には、大きく影響していない

と回答したが、今後さらに地方交付税の削減が続けば、財政状況が厳しくなる。18年度に策定された、老人・介護・障害者福祉計画に基づき、温もりのある福祉行政を展開したい。



グループホームやまなか